

会報 第72号	Mt. Iwaki Conservation Association <b>岩木山を考える</b>	2017年4月20日発行 岩木山を考える会 会長 小堀英憲
------------	--	-------------------------------------

## 新会長あいさつ

正木進三氏、阿部東氏の後を受けて三代目の会長を務めさせていただきます小堀です。歴代会長と違い人格もなく、岩木山に関する知識に乏しい私に会長職が務まるのか不安で一杯ですが、推薦して下さったことを粹に感じて私の力の限りを尽くして頑張る所存です。しかし、私の実力では会員の皆様のお力添えなしでは務まりませんのでよろしくお願い致します。又、幹事の方々も少数精鋭で頑張っておりますので共々よろしくお願い致します。



小堀英憲 記

## 2017年度総会報告

弘前市民参画センターにおいて、4月2日、22名の参加者で総会を行いました。2016年度の活動のまとめ、2017年度活動方針、会計報告、予算について提案され活発に討議されました。往復ハガキによる参加確認には会員としての前向きな姿勢を示していただき心強い限りです。座学の岩木山講座を切望する意見、生き物の生育環境について、大館鳳鳴ヒュッテの歴史について等「岩木山を考える会」への思いや期待の高さを感じることができました。役員体制(2年に一度の役員改選の年でした)では、小堀英憲氏を会長代行から会長へ、副会長に竹谷清光氏を指名。他の役員はほぼ現行体制です。



総会後の「コトリ」での懇親会は19名の参加で会場が窮屈な程でした。今後は参加者の顔が見えるように、会場や懇親会の進め方を工夫したいと思います。

2011年度から現行の役員体制ですが、「考える会」会員の心意気を強く感じる機会となりました。健康上の理由で幹事を降りる花田幹事には6年間尽力していただき、特に写真展での「考える会」の活動報告コーナーは好評でした。ありがとうございました。

藤原裕貴子 記

### 【会員の声】

総会案内の返信はがきに寄せられた会員の皆様の声をお届けします。

・会長代行を会長とするか、適役を探して依頼するか、そろそろスッキリした組織に。

⇒ 総会でも同様のご指摘があり、小堀副会長が会長に就任しました。

- ・焼止避難小屋の整備につき、市に申し入れしていただけます様にお願いします。いくら避難できれば良いとはいえ、ひどすぎる状態で、外梯子の設置、折れた庇の修理、ベッドの床の貼り替えは早急をお願いします。
  - ⇒ 岩木山環境保全協議会を通して、焼止、鳳鳴小屋整備を要望し、一部改善もみられましたが、ご指摘のように、外梯子、庇等については引き続き働きかけていきます。
  
- ・HP かブログの開設が必要。会員増が必要。
- ・Facebook で活動の様子がもっと更新されることを期待しています。
  - ⇒ HP の更新を再開しました。Facebook では行事の紹介が中心ですが、更新に努力します。
- ・参加するたびに、動植物についての知識をいただき、地球環境について考えさせられます。“知る”ことはうれしいことで、また参加したくなります。
- ・たまには、別の山にも行って見て、比べても良いのではと思います。
  - ⇒ 昨年度から、周囲の山から岩木山を望もうとの企画も実施しています。岩木山講座の内容についてご希望をお寄せください。
  
- ・岩木山に咲く花、高山に健気に咲く花々を好み、写真展を観るのみの会員です。よろしくお願いします。
- ・岩木山の景観を今年も多方面から撮影し、楽しみたいと思っております。
- ・なかなか観察会に参加できずにいますが、写真展の時の報告写真も楽しみにしています。
  - ⇒ 写真展にはお気軽に足をお運びください。観察会の記録写真の展示も継続する予定です。また、出展も大歓迎ですのでこちらもよろしくお願いします。
  
- ・地域に根ざし活動をつづけられていること、心強く思います。岩木山をこれからもめんごがっていきたいです。
- ・大好きな岩木山のため今後も何とか続けていきたいですね。
- ・TV の旅番組やニュースなどで時々岩木山の映像を見て、懐かしさがこみあげてきます。やはり津軽の自然はすばらしいとつくづく思います。
- ・岩木山の美しさ、そして大切な自然を守るために力を発揮していただきたい。
- ・高齢で、皆様と行動を共にすることは叶いません。会の更なるご発展を念じております。
  - ⇒ 会の趣旨に賛同していただいていること、岩木山に対する暖かいお気持ちを、心強く感じています。これからもご支援をよろしくお願いいたします。

他にも、“応援しています”“がんばって下さい”“活躍を期待しています”などなど、励ましの言葉を多数いただきました。ありがとうございました。

最後になりましたが、今年1月28日にご逝去された正木進三初代会長を悼むお葉書も頂戴しました。正木先生は当会発足時の弥生スキー場そして嶽スキー場建設に対する反対運動の大きな柱でした。シンポジウム、観察会、連続講座、写真展の開催に、意見書・要望書等の提出に尽力されました。当時の活動が今の会の基礎を作ったと言えます。ご冥福をお祈りいたします。

## 志賀坊観察会～スプリングエフェメラルの山野を訪ねよう～

(2017年度 ウォッチング青森定例観察会  
岩木山を考える会第1回岩木山講座)

“雪解け、とともに森は、「カタクリ」や「キクザキイチリンソウ」など、早春の花に彩られます。春の息吹を参加者皆様とともに分かち合いたいと思います。志賀坊森林公園地区は、かつて修験者が一坊を構えたと伝わる地名が多く伝承されています。森林公園は古来の南部道の一つ(広船から矢捨山を経て小国に至る山道)である道筋に位置し、津軽平野や岩木山などの遠望や夜景を楽しむことができます。皆様の参加をお待ちしております。



日 時 : 4月30(日) 10時～13時

集合場所 : 午前9時50分までに志賀坊森林公園駐車場に集合ください。

持ち物 : 簡単な山歩きができる服装～長袖シャツ・長ズボン・帽子・手袋(軍手)・長靴等、雨具、お持ちの方はルーペ、双眼鏡等、昼食、水筒、筆記用具、その他(当日の天候により防寒対策等も)

終了後、みんなで昼食を取りながら交流します。

参加費 : 200円(保険・資料代)

申し込み先: 竹浪 純(TEL 070-6952-2614 FAX 0172-88-6656)申し込みは、お名前と連絡先をお知らせください。

申込締切日: 4/27(金)20時

共催 ウォッチング青森 岩木山を考える会 問い合わせ先 070-6952-2614(竹浪まで)

竹浪純 記

**跡地の自然の回復調査も7年目!**

## 弥生スキー場跡地観察会

弘前市主催「弥生いこいの広場隣接地利活用に係る自然観察会」

弥生スキー場跡地は、自然の様々なレベルでの回復が同時に観察出来る場所です。いったん破壊された自然がどのように回復していくのか、参加者一人ひとりの目で確かめ合ひましょう。

この6年間の調査で確認された植物は330種にのぼります。樹木では、ヤナギ類が勢いよく成長している場所がある一方で、ヤナギ類に替わってナラやカエデ、ウワミズザクラなどが生え始めている場所も出てきました。湿地帯が乾燥化し始めておりトンボ類の影が薄くなりました。沢にはニホンザリガニが至る所で観察できます。今年の観察会ではどんな生物が見られるでしょうか。



この広大な弥生跡地の自然を守りながら、市民がどのようにそれを活かし利用していくか、今年も弥生ネットは弘前市が主催する観察会に合流して一緒に楽しみます。

▽と き 7月2日(日) 10時～12時

▽集合場所 10時までに弥生いこいの広場駐車場へ

▽持ち物 汚れてもよい服装・手袋・長靴・タオル・

帽子・飲み物・雨具(雨天時)

※ 終了後豚汁を無料で提供します。おにぎりをご持参ください。

申し込み:0172-36-3638(平日日中にお願ひします)

申込締切日:6月23日(金)



▼観察会終了後、午後から動物調査、毎木調査を実施します。ご希望の方はどうぞご参加を。

共催: 弥生スキー場跡地問題を考える市民ネットワーク(弘前市民オンブズパーソン、コープあおもり弘前地域、岩木山を考える会、市民が主人公のみんなの会、津軽保健生活協同組合、弘前市を考える会) 青森県自然観察指導員連絡会(ウォッチング青森) 問い合わせ先:阿部 東(0172-36-4205)

## 岩木山講座③「ゴマシジミの観察会」

日時 8月20日(日)を予定しています。

具体的なことについては一般新聞紙等で改めてご案内します。

藤原裕貴子 記

## 第23回写真展「私の岩木山」無事終了

NHK弘前ギャラリーにおいて、2月5日(金)～7日(日)の三日間行われて、入場者は236名でした。厳冬期の岩木山写真展、ということで迎える春への想いを巡らせるいい機会となるなど毎年好評を得ています。今回の展示では先日亡くなられた初代の会長、正木進三先生の本会での業績の紹介がありました。また、昨年作られた弥生新道についても展示がありました。2人の方の生き生きした野鳥の写真をはじめ、それぞれの力作に、岩木山への、自然への豊かな思いを感じることができました。

藤原裕貴子 記

## 平成28年度岩木山講座⑤に参加して

3月19日(日)12名の参加で青空の下、平沢流域の雪山観察を行いました。かんじき、スノーシュー装着。枯れ木の中の虫を探したり、ウダイカンバの枝についたクスサンの繭を見つけて説明を聞きました。ウサギやカモシカの足跡の観察。カラマツの木に絡まったフジの蔓、ツルアジサイの枯れた花などこの時期ならではの観察会でした。また、平沢の堰堤の上流に出てやっと自然の流れが見えてきたと聞きました。

藤原裕貴子 記



### 寄稿 観光館での「市民の集い」に参加

去る3月22日、18:00に開催された「弥生いこいの広場(周辺)の現状を知ろう」とのテーマの「市民のつどい」に小生も参加いたしました。

その要旨は2点、Aとして弥生ネット側の発表で「スキー場跡地のこれまでの経緯と現状」、Bとして市当局側の発表で「いこいの広場各施設の老朽化や改善点に関する説明」と受け取りました。

Aの「弥生跡地に関する説明」では(まぐさ場周縁部、薪炭材を確保する山)→(リンゴ畑、菜種畑)→中止→(大型児童館建設構想)→中止→(現在に到り自然がかなり回復)→(当会、弥生ネット、ウォッチング青森、市当局、一般市民等が参加しての動植物の調査、観察会、毎木調査等を行っている)との説明でした。

またBの「いこいの広場に関する市側の説明」では動物園・ハイランドハウス・ピクニック広場の老朽化やその他の問題点を改善するため、リニューアルしようとの要旨でした。(ただし予算はまだ決まっていない)とのことでした。

AとBの説明・要旨ともその設定、資料制作、進行内容などが小生にはいずれもよく考慮され、よくまとめられていて非の打ちどころが見当たらない思いでした。

弥生ネットも市当局も、より良い方向を目指すことは共通のはずで、今回の「つどい」もベターな試みに違いないと思った次第です。

そもそも「スキー場跡地問題」の原点はこの(聖なる?)名山に、弘前公園から見て少し右寄りの5合目にかけてケロイドのような傷(故正木先生の表現)をつけるなどとんでもないとの思いが燃え、また富士山以外の〇〇富士と称される名山の中でも一説ではベスト1ともいわれ、独特の山容、独特の動植物と生態系、遠景・近景・超接近とも神の山と云える岩木山を、はっきり大規模に人工変形させることはとんでもないことだとの思いで当会が抵抗・反対を実施し、そして当時の県知事の英断(?)でスキー場の建設が中止となったいきさつがありました。

さて、3月22日の「つどい」では、机の配置等も自然にグループ討論が出来るような配置で、誰の発案かグッドアイデアと感じ入った次第でした。小生にとっての総論的印象は、跡地の方はやはり自然のままにした方が良いとの意見が多いように思われました。

もしそうするとすれば、そのためには前回の会報71号に記載された阿部先生の寄稿が有用、有意義な参考になると思われます。ちなみにこの阿部先生の目を見張るような生態系、自然保護に対する寄稿文はその理論を更に拡大、一般化して再構成すれば全国的(世界的かも知れない)な自然保護論、生態系論として成立し得ると思うのですが阿部先生いかがでしょうか？

齊藤真人 記

### \*会員継続と平成29年度会費納入のお願い\*

 平素当会の活動にご理解、ご支援をいただきありがとうございます。今年度も引き続き、会員継続とご協力をよろしくお願いいたします。

会費は同封の払い込み用紙または最寄りの幹事を介してお納めください。なお、会費納入状況をお知らせする付箋を同封しておりますので、ご確認ください。(2017.4.2 現在)

### \*幹事募集と幹事会への参加呼びかけ\*

 岩木山を考える会の企画・運営に参加していただける方を募集しています。まずは、毎月第一火曜日(5月は第二火曜日)に開催している幹事会に顔を出してみませんか？日頃、岩木山についてお気づきのことや考えていることなどざっくばらんにお聞かせください。桜大通り、市民参画センターで午後7時～。

### ※編集後記

春になりましたね。ついこの前はうちのネコが交尾をしていました。メスの一歳と、オスの二歳です。人間で言うと20歳と30歳というところでしょうか？これ以上増えたら完全にネコ屋敷になってしまいそうです。生ゴミは漁りますが特別にエサを与えていないのでますますネズミ取りに活躍してくれそうです。ミツバチも冬の間大分数を減らして10分の一ぐらいになってしまいましたが、気温が上がり盛んに巣箱を出入りしています。周囲はまだ一面雪でもどこかで花が咲いているのでしょうか。花粉をつけて帰ってきます。早春だとネコヤナギとかフキノトウでしょうか？ハチの数も回復しつつあるようです。今年こそは熊に襲われずハチミツを採りたいものです。この前ニホンミツバチはセイヨウミツバチよりネオニコ系農薬に弱いという記事を見ました。我が家でニホンミツバチが飼育できるということはそれだけ農薬の心配が少ないと言えるかもしれません。害虫を駆除することは仕方のないことですがなるべく多くの生き物、特に益虫とは共生したいものです。

小倉慎吾 記

会報「岩木山を考える」第72号(2017年4月20日)発行／岩木山を考える会 会長 小堀英憲 〒036-8131青森県弘前市千年4-12-15／電話0172-87-1910 事務局長 竹浪 純／電話070-6952-2614 郵便振込口座番号 02380-0-37914 振込先:岩木山を考える会
---